

---

**2025 年度**

( 令和 7 年度 )

**事業計画書**



2025 年 4 月 1 日より 2026 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 **国際障害者年記念ナイスハート基金**

---



---

## 2025 年度事業計画策定にあたって

2024 年度は、コロナ前の活気を取り戻すべく、ふれあいの広場事業においては午後までの開催を実施し、かつてのにぎわいを取り戻す契機となる 1 年となりました。設立時より大切にしてきた、障害の有無に関わらず、誰もが人格と個性を尊重し支えあう「共生社会」の実現に向けて、改めてふれあうことの大切さを実感できた点で、次年度に大いに繋がる活動であったと思います。

当基金設立以来、継続して取り組んでいる「ふれあいの広場事業」では、スポーツや音楽等を通じて、障害の有無に関わらず共に参加し楽しむことのできる新たなプログラムを開発し、自動車総連の全面的なご協力をいただきながら、全国津々浦々で開催することができました。2025 年度は、昨年度同様午後までの競技を実施し、安心・安全に笑顔あふれる大会となるよう努力を続けてまいります。

「ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ」では、2023 年度の大雨による被害のあった山口県内の障害者施設で開催することができました。

2025 年度において、2019 年 10 月の台風 19 号の被害のあった長野県内の障害者施設での開催を目指し、言葉を超えたコミュニケーションの手法を知っていただけるよう取り組みます。

ニュースレターは 6、9、12、3 月に発行しています。当基金の活動内容や実施予定を記載し郵送、e-mail にてお届けをしています。また、ホームページにおいても掲載しています。

厳しい財政運営の中、賛助会員や寄付者の募集活動をこれまで以上に取り組み、ニュースレターおよびホームページの内容について検討してまいります。

多くの皆様のご理解とご支援のもと本年度の事業が展開できますよう、引き続きのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

2025 年 4 月

公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

---

# 1. ふれあいの広場事業

## (1) ふれあいのスポーツ広場の実施

ふれあいのスポーツ広場は、障害の有無に関わらず、軽スポーツを通じ、共に楽しみ、交流することを目的とし、当基金設立時より実施している事業です。1992年度以降は「全日本自動車産業労働組合総連合会（自動車総連）」より物心両面にわたるご支援をいただきながら、開催しています。

2024年度は基本的にはコロナ前と同様に、開会式では参加施設による選手宣誓や各チームの応援合戦も復活させ、午前3競技に昼食とアトラクションを挟んで午後1競技を実施しました。

2025年度は、昨年度に引き続き午後までの競技を実施し、ふれあいのスポーツ広場の意義・目的を踏まえつつ、多くの参加者がふれあいながら楽しんで頂く機会をより一層増やし、全都道府県での実施を目指します。

競技内容については、日本福祉大学の藤田紀昭教授を中心に、障害の種別や程度でなるべく影響の少ないプログラムとして、ユニバーサルスポーツをキーワードに実施してきた内容を踏まえつつ、昨年度実施してきた競技運営の知見も加味しながら、安心・安全に、またより楽しんでいただく運営に努めます。

今まで以上にさらなる活気あふれるイベントとなるように、多くの関係者、ボランティアの皆様のご支援をいただきながら、全力で推進してまいります。

**実施時期** 2025年4月～2026年3月

**開催地域** 全都道府県を予定

**開催数** 全国47会場（予定）

**共催** 全日本自動車産業労働組合総連合会

**後援** 内閣府、スポーツ庁、開催都市、開催都市教育委員会等

**協力団体** 日本福祉大学

仙台ユニバーサルスポーツ研究会

(公社)日本エアロビック連盟

**プログラム内容**

日本福祉大学の藤田紀昭教授の監修のもと、障害の有無に関わらず、誰もが共に参加し楽しむことのできる競技を中心に実施します。



## 競技内容（例）

### ☆ロープ送り

・2列縦隊で座った列の先頭から、最後尾に向かってロープを送っていき、最後尾でUターンして最前列へロープを送る。ロープの最後が最前列の参加者に到達したら、ばちと交換して太鼓等を打つ。早く打ったチームが勝ち。



### ☆風船バレー

・2チームに分かれ人の列で区切りを作る「人間ネット」を中心線とする。各チーム30～40個の風船を持ちスタート。風船を打ち合って最終的に風船の個数が少ないチームが勝ち。



### ☆ホールインワン

・音楽の合図が鳴ったら、パラシュートを上下にリズムに合わせて動かす。指導者の合図でパラシュートを右に回し、その後ボールを入れる。全員で協力してパラシュートの中央の穴にボールを落とす。ボールを穴に落とした後、早く座ったチームが勝ち。



### ☆じゃんけんダンス

・インストラクターの進行で、ふりつけダンスとじゃんけんダンスを行う。  
じゃんけんダンスは、<わきプレス4回>→<拍手4回>→<膝たたき4回>→<じゃんけんポン>の順番で行なう。



### ☆スローエアロビック

・スローエアロビックは、シンプルで自然な動きを取り入れながら、カロリー消費ではなく、気分を好転させることを重視しています。音楽に合わせて楽しく体を動かすというエアロビックの本質的な魅力を、運動強度が低い運動へと裾野を広げようという考え方に基いています。

※出典：(公社)日本エアロビック連盟 web ページ



---

## (2) ノンバーバル・コミュニケーションワークショップの実施

障害の有無に関わらずお互いが尊重しあえるように、ノンバーバル（非言語）という方法でコミュニケーションについて学ぶ場づくりをいたします。

2025年度には、2019年10月の台風19号の被害のあった長野県内の障害者施設での実施を計画いたします。

実施時期：2025年度下半期予定

対象者：障害のある方、教職員、ボランティア等

ファシリテーター：庄崎 隆志氏（office 風の器主宰・俳優・演出家）

メイミ氏（漫談家・特定非営利活動法人笑顔工房 理事長）



## 2. 開発、普及及び育成事業

### (1) 各事業報告書の発行

当基金が事業展開をしている中で、障害の有無に関わらず共に楽しむことのできる手法や考え方を、多くの方に知っていただき、様々な活動の中で取り組んでいただけるように、下記の報告書を発行致します。

刊行時期：2026年3月

発行部数：当基金ホームページにおいても掲示。無償配布。

発行報告書：ふれあいのスポーツ広場 / ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ



### (2) ニュースレターの発行

当基金が設立以来事業活動の基盤として周知に努めている、障害の有無に関わらず共に楽しみ共に取り組みながら相互理解を深めていく「ふれあいの広場」事業に関して、その理念や活動内容、そしてプログラムの手法やイベント情報を中心に掲載した機関誌「ないすはあと」を年4回発行します。

発行月：6月、9月、12月、3月

発行数：当基金ホームページにおいても掲示。無償配布。

内 容：ふれあいの広場事業に関わるプログラム内容、手法、実施の状況等



掲載写真 2024年度ふれあいの広場活動 キルン・イン・アンの様子 … 1  
巻頭 ノンバーバル・コミュニケーションワークショップの模様 … 2  
巻末 2024年度ふれあいの広場活動の振り返り … 4  
2024年度ふれあいの広場活動の振り返り … 4